

平成29年度 長野県北部高等学校 学校評価（自己評価）

最終評価

平成29年度学校重点目標

安心安全な学習環境の中で、人権意識を高め、一人ひとりが生き生きと学ぶことのできる学校づくりをすすめる。

1 【学力の定着・向上】

生徒一人ひとりの基本的な生活習慣を確立し、落ち着きと緊張感のある学習環境の中で、将来にわたって自ら学ぶ力を培えるように、丁寧な学習指導をする。

2 【挨拶の励行】

北部高校の一員であることを自覚し、気持ちの良い挨拶を励行し、明るく規律ある学校を目指す。

3 【キャリア教育の推進】

体験的「地域」授業を通して、地域に感謝し、探究心と生きる力を磨き、社会参画への意識を醸成し、貢献できる社会人となるための素養を磨く。

4 【生徒会・部活動の活性化】

積極的な自主活動に取り組みせ、地道な活動の成果を認め、自尊感情を高めながら、活力溢れる学校を目指す。

5 【情報発信と地域連携】

ホームページや北斗情報などで情報を発信し、保護者にも学校行事に積極的に参画していただきながら、地域に開かれた学校づくりをすすめる。

アンケート時期 平成30年1月

有効回答数 29名

分析

	A	B	C	D
学習指導	22.3%	55.0%	20.3%	2.5%
進路指導	31.7%	59.3%	9.0%	0.0%
キャリア教育	56.1%	38.6%	5.3%	0.0%
生徒指導	44.1%	44.9%	9.7%	1.3%
生徒会活動	34.2%	53.5%	10.5%	1.8%
開かれた学校づくり	47.3%	46.7%	5.4%	0.6%
全体	37.3%	50.6%	10.9%	1.2%

※評価段階

A 十分満足している B やや満足している C やや不満足である D 不満足である

【全体】

A「十分満足している」B「やや満足している」が87.9%を占め、全体的に見ると日々の活動の成果がみられるという結果となった。しかし、自己満足に陥らないようにチェック、確認を行いたい。

【学習指導】

「A」と「B」で77.3%と昨年より4.4pt上昇という結果となった。ただし、「教員相互の授業公開等を通じ、授業改善が図られたか」において「C」が41.4%と高い値である。教員間の授業研究をより開かれたものとして実施、検証をしたい。今後も生徒一人ひとりの自己実現に向けた課題の克服を目指し、指導・支援に取り組んでいきたい。他方、基礎学力の定着のためにさまざまな方策で、家庭学習を含めた課題への取り組みを引き続き丁寧な指導としたい。

【進路指導】

「A」「B」評価は91%。（昨年比17.7ptアップ）。求人数が回復したが、企業の求める生徒像は高い状況は変わらない。それを念頭においたSPIなどの試験対策、面接指導の成果が3年生の就職内定率などにも表れている。進学指導においても個別指導を行うなど、生徒の希望進路に応じた個別指導を行い、一定の成果を得ている。

【キャリア教育】

「A」「B」評価は昨年とほぼ同様の94.7%。本校の特色の一つである「地域授業」等、経年の中で内容も精選され、システム化できるようにした係中心の努力が結実している。信州学サミットへの参加等からプレゼン力も高まっている。今後は自ら課題を発見し、探求できる学習への深化の方向を探りたい。そのための主体性の伸長が今後の課題であろう。

【生徒指導】

「A」「B」の評価は昨年同様の89%。日々の指導により落ち着いた環境作りが整いつつあり、問題行動の数は減っている。遅刻や欠席、身だしなみ等の基本的な生活習慣の指導をはじめとして、更なる努力が必要であろう。家庭との連携を更に密にして、より細やかな指導に取り組んでいきたい。また、スマホやネット環境に対する指導にはまだまだ課題もあるので、指導方法をより検討したい。

【生徒会活動】

「A」「B」評価が87.7%。本校の看板活動の一つである生徒会活動が活発に行われている様子がわかる結果である。学校内の活動以外にも、牟礼駅の花壇整備、通学路清掃などの伝統的な活動や、りんごの里祭、りんごフェスタ等の飯綱町の行事へ参加等、学校外の活動を通して、生徒の自主性・ボランティア精神が育ちつつある。今後とも細やかな指導を継続していきたい。また、1年次に全員加入を促して5年目となったが、「クラブ活動の活性化」は、生徒の活動継続性において道半ばである。

【開かれた学校づくり】

積極的な生徒募集の取り組みにより体験入学への参加者の増加に対して、一定の評価がされている。今後も北斗情報やホームページを活用した学校の情報発信を継続し、地域・保護者に理解され、愛される学校づくりに取り組んでいきたい。